# ⑥IDO億宣言

## 東邦運輸倉庫株式会社(運輸・倉庫業)

# Th #

### 東邦運輸倉庫株式会社



当社倉庫外観(5号倉庫)

〇本社所在地:仙台市宮城野区

〇事業概要:普通倉庫業/貨物自動車運送 業/貨物利用運送事業/損害保険代理業/

通関業/倉庫その他設備の賃貸 ○常時使用する従業員:347名

(2025年9月時点)

〇現在の売上高:82億円

(2025年3月期)

○法人番号:6370001005666

OWeb: https://www.toho-twc.co.jp/

#### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長 黒川 敬之

経営理念:最善な物流サービスの提供

2025年経営方針:パワフルで笑顔の絶えない魅力あふれる東邦グループになろう

#### ~東邦運輸倉庫の次なる進化に向けて~

■東邦運輸倉庫は、様々な厳しい経済環境の中、更なる拡大と進化を続け、物流の効率化をきめ細やかに進めます。 多くのお客様企業にお役に立てる「ロジスティクスのベストパートナー」であり続けます。

#### ~2030年の売上100億円に向けて~

■トランプ旋風が吹き荒れ、世界経済が混沌とする環境下で、人手不足・金利上昇・為替変動・燃油高・急激な物価高騰に加え、増え続ける人件費などを吸収する事業展開を推進し、【売上高:100億円】を目指します。

#### 売上高100億円実現の目標と課題

#### 実現目標

《100億到達へ向けて》~2030年に売上100億円到達~ 〇 2030年の売上高達成を目指します。

M&A

⇒カテゴリーの違う会社を仲間にし、事業拡大を目指します。

● シェアアップビジネス

⇒市場における占有率を向上し、シェア拡大を目指します。

● 新カテゴリーの拡充

⇒食品、建材に次ぐ新たな柱の確立を目指します。

#### 課題

- 東北の人口減少による物流量減
- コンプライアンスの厳格化
- 物流拠点集約の加速
- 大手物流会社のM & A の増加
- 物流不動産ファンドによる大型物流施設の建設加速
- 3 P L 会社や物流コンサル会社など新しい競合

#### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### 目指す成長手段

1.既存取引先様の関連企業への営業強化

当社の取引先様の多くが「日本を代表する業界トップ企業」&「直接契約」が強みになります。今後これらの結びつきを活かし関連会社や取引先様の別部門への横展開の営業にて業容拡大を図ります。

2.協業営業

当社の強みを活かせる同業他社と連携し、新たなビジネスを創出します。特に多くの物流企業は、北三県エリアの対応は厳しく当社との協業は大きなメリットとなります。

3.みちのくネットワークの強化

「みちのくネットワーク」の弱点を補強しながら、全部門一丸となって時代 の変遷に対応する東北最強の物流広域ネットワークを強化していきます。

#### 実施体制

1.新倉庫建設プロジェクトの結成 ~未来への投資~

旺盛な倉庫需要に対応するため利便性の高い地区へ自社倉庫を建設中 営業強化による需要増を取り込んでいきます。

2.営業統括部門による協業営業 ~競合から協業へ~

人口減少が叫ばれる中で、東北の物流を維持するためには協業と共同は避けられません。東北での営業展開が弱い大手物流企業との連携を目指していきます。

3.グループ企業挙げての共同配送業務拡大 ~将来へ繋げる~

東邦グループ内で傭車先の車両情報を共有できる仕組みの構築、システム導入を進めてまいります。

関連会社東京東邦運輸倉庫の新拠点を新たな武器として「みちのくネットワーク」を拡大します。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 東邦運輸倉庫株式会社(運輸・倉庫業)

#### 東邦運輸倉庫は売上100億円を目指します!

#### ~最善な物流サービスの提供~

東邦運輸倉庫は、1952年の創業以来「地域密着型の物流企業グループ」を目指し、一歩一歩着実に進んで参りました。これまで幾多の困難を乗り越え、時代に惑わされず愚直に努力を積み重ね、現在の事業構成を確立しました。

経営理念を「最善な物流サービスの提供」と掲げ、お客様のニーズの変化やグローバルな社会の変化に敏感に反応できる広い視野を持つ人材の育成に注力して参りました。 東北六県に自社アセットを有し、倉庫業務を提供しながら「みちのくネットワーク」と呼ばれるカテゴリー別の独自の共同配送システムを構築し、広範囲で少量貨物の配送を 伴う東北地方において、最善なコストでかつ環境負荷を低減させる輸配送を実現しております。

我々はこれまでと同様に物流事業者としての使命を果たすべく更なる成長を続け、激変する経済環境下でも安定した物流を提供し、絶えず発生する自然災害に対応するエッセンシャルワーカーとしての役割を維持継続して参ります。その為には東北全域のみならず日本全国、さらには海外への事業展開を次なる成長戦略と位置づけ、これまで培ってきた物流技術力を最大限に活かして拡大する必要があり、5年を目途に売上100億円企業を目指して参ります。

